

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハピネス国際ほみ放課後等児童デイサービス(放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	R6年 11月 22日		～ R6年 11月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	R6年 10月 21日		～ R6年 10月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 12月 26日		

○ 分析結果

公表日 令和7年2月5日

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多言語による教育・養護を一体化したサポート。	社会に適応できる様に、英語・日本語のトレーニングを行っている。	トレーニング時間を、しっかりと確保したい。
2	異年齢とのコミュニケーションにより、様々な年齢層に接することができるようなサポート。	積極的に異年齢と関わることができる機会を設けている。	できる限り異年齢と同じ空間で過ごすようにしたい。
3	多言語による、各関連機関・行政機関に対する相談等をサポート。	保護者の方に一番なじみのある言語での、簡潔でありながらも丁寧な対応を心がけています。	保護者の方の母国語に応じて、しっかりと説明ができるようにしたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	言葉の壁により、指導員・利用者環境においてもコミュニケーションが難しい場合がある。	国籍・言語の違い	コミュニケーションツールを使用している。 又、ジェスチャー等で相互理解につなげている
2	工作・運動等、年齢や好みのばらつきがあり、一斉に同じことをすることが困難。	年齢差・利用時間差・好みの差	同じ素材・同じ場所で、個々の年齢、好みに寄り添いながら自然に集団行動が行える環境を提供していきたい。
3	保護者の方に対する多言語対応による、相互理解が難しい場合がある。	国籍・言語の違い	できる限り保護者の方が活用している言語で、対応しています。